



萩園中学校だより

萩園中学校 学校だより⑥ 令和8年8月31日 校長 小俣 宏之

最重点目標【誰もが大切にされるインクルーシブな学校】

夏休みが終わりました

いつもより長いと思っていた44日間の夏休みも終わり、いよいよ今日から日常の学校生活が始まります。9月3日からは合唱コンクールの練習も始まりますので、実行委員や指揮者・伴奏者のみなさんは準備で忙しかったのではないのでしょうか。

夏休み前の全校集会では、「学校があるときにはできない過ごし方で、心も体もリフレッシュしてください。」という話をしましたが、リフレッシュはできたでしょうか。夏休み明けに学校へ行くのが少し不安になってしまうことはよくあることなので、何か困ったことや相談事があれば、担任の先生や学年の先生に早めに相談するようにしてください。それではまだまだ暑い日が続きますので、引き続き熱中症には十分に注意して学校生活を送ってください。



全国学力・学習状況調査結果について

中学校3年生を対象として4月22日、5月8日に実施した「全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。本校生徒の特徴として挙げられるものをお知らせいたします。国語、数学、理科、英語の4教科で合計44問の設問に加え、生徒質問紙にも80項目の設問があり、すべての項目についての分析を記載することができないことをご理解ください。また本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえてご確認いただけたらと思います。

【教科について：国語 数学 理科 英語】

○国語については、平均正答数が、全国平均より0.8問低い結果となりましたが、昨年度の本校との比較では改善傾向が見られました。特に「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題が見られる結果となりました。

○数学については、平均正答数が、全国平均より1.2問低い結果となりましたが、昨年度の本校との比較では改善傾向が見られました。特に「関数」と「データの活用」の領域に課題が見られる結果となりました。

○理科については、平均正答率は、全国平均とほぼ変わらない結果となりました。特に「生命を柱とする領域」に課題が見られる結果となりました。令和4年度調査とは問題数が異なるので比較は難しいのですが、平均正答率との比較では改善傾向が見られました。

○英語については、平均正答率は、全国平均とほぼ変わらない結果となりました。「読むこと・書くこと」の領域については全国平均を上回りました。特に「日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができるかどうかをみる」設問は正答率が高い結果となりました。令和5年度調査とは問題数も変わっていますが、「書くこと」の領域は全国平均を上回っており、今年度と同じ傾向が見られました。

※ここ数年の本校平均と全国平均との差を比較すると、全国平均より低い結果は変わらないものの改善傾向が見られていますが、毎年問題が変わりますので、経年変化をそのまま学力の改善傾向と結びつけることはできませんので、全国平均との比較だけではなく、学習指導要領の各領域や評価の各観点における正答率等についても分析をすすめ、今後も校内研究を通じた授業改善に努めるとともに、今年度からの取組である教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の裁量的な時間「萩トレ」を通して、学習支援を推進していきたいと考えています。

【家庭での生活・生活習慣について：朝食 就寝時間】

○朝食の喫食率は、肯定的な回答が89%で、全国平均91%と比べてほぼ変わらない結果で、昨年度の本校の87%と比較しても、改善傾向が見られました。また、今年度のほぼ決まった時刻に寝ている生徒の割合は74%で、全国平均の80%と比べても、低い結果となりました。本校の昨年度の結果からも6%低い結果となっており、多くの生徒が規則正しい生活を送ることができている一方で、就寝時間が不規則で睡眠時間が短くなっている生徒もいるようです。今後も規則正しい生活習慣について、ご家庭での協力をいただければと思います。



【萩中生の意識について：自己肯定感】

○「自分には良いところがある」の問いに対して肯定的な回答をしている生徒の割合は85%で、全国平均の84%とほぼ変わらない結果となりました。昨年度の88%より低い結果であることや、否定的な回答がまだ15%あることを忘れずに、今後も引き続き生徒の自己肯定感の醸成に努めてまいります。

また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の問いに対して肯定的な回答をしている生徒の割合は、昨年度は90%でしたが、今年度は95%で、改善が見られました。全国平均91%に比べても高い数字と言えると思います。「先生が、自分のよいところを認めてくれている」という生徒たちの意識は高まってきているので、今後も教職員によるポジティブな行動支援を心がけていきたいと思っています。

【家庭学習・学習時間について：平日の学習時間】

○学習時間については、平日の学習時間についての設問がありました。平日に1時間以上勉強している生徒は、昨年度が60%に対して、今年度は61%という結果でほぼ変わりありませんでした。教育課程柔軟化サキドリ研究校事業の裁量的な時間「萩トレ」や「学習相談」を通して、学習習慣の確立につながる支援を推進していきたいと考えています。

本校では、本調査結果について全教職員で共通理解を図り、調査結果を活用して、日頃の教育活動を検証し、今後の学習指導の工夫・改善に生かしてまいります。また、校内研究を通して授業改善を図るとともに、生徒一人一人の学習意欲の向上に努めてまいります。

個人票の返却は、9月8日を予定しています。なお、英語4技能については、後日の返却となります。

令和8年度調査の結果に関する以下の資料が、国立教育政策研究所のホームページに公開されています。

(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>)

- ・学習指導の改善・充実に向けた説明会資料について（2026年8月19日、20日）
- ・報告書・調査結果資料について（2026年8月3日）
- ・授業アイディア例一覧（2026年8月3日）
- ・調査問題・正答例・解説資料について（2026年4月23日・24日、5月29日）

URL:<https://www.nier.go.jp/26chousakekkahoukoku>

- ・その他調査結果資料